

企画名：東アジア クロツラヘラサギフライウェイ子ども交流プロジェクト

団体名：Team SPOON

1. 報告要旨

Team SPOON は、東アジアを渡る絶滅危惧種の渡り鳥を介して、人と自然、人と人をつなぐことで、クロツラヘラサギが生きる豊かな自然を守るとともに、それを実現していく平和な社会をつくっていこうと活動している団体です。

私たちは、未来をつくる主役としての子どもたちの言葉を聞き、それを大人が受け止める場をつくりたい、さらに子どもたちの言葉から、世界規模の問題と地域の問題と日常をつなぐための言葉や方法を見つけていきたいと思い、「クロツラヘラサギがつなぐ子ども湿地未来プロジェクト」を2021年5月から本格的に開始させました。このプロジェクトは、2つの企画から構成されています。一つは、クロツラヘラサギが渡る地域の子どもたちに湿地の小さな生きものやクロツラヘラサギ、湿地、地域の紹介や、クロツラヘラサギが飛んでいく他の地域の子どもたちへのメッセージの動画を送ってもらい、それを一つの動画にする企画、もう一つは、動画を送ってくれた子どもたちを中心に、フライウェイの子どもたちがオンラインで一堂に会して交流する企画です。

私たちは、カンファ、福岡、鹿島、台南の各地で活動している団体・個人に協力していただき、2021年10月ごろから動画を集めはじめました。そして、2022年4月27日、子ども交流会「湿地のともだち、こんにちは！」を開催しました。このイベントには、動画を撮影してくれた子どもたち10名を含む、カンファ、福岡、香港、台南の約40名の子どもたちが集まりました。交流会の初めに、子どもたちと一緒に、私たちはそれぞれ離れた地域に住んでいるけれど、同じ海と空を共有していて、今回の交流会の会場の天井は空であることを確認しました。そして完成した動画を見て、他の地域に住む子どもたちに、感想を伝えたり、質問したりしました。またお互いの地域の天気を教え合ったり、カンファ、福岡、香港、台南それぞれの言葉で「クロツラヘラサギ」を何と呼んでいるのかを学び合いました。

別の地域ではクロツラヘラサギが換羽していつも見ている姿とは異なる姿になること、別の呼ばれ方をしていること、他の地域の湿地と自分の地域の湿地の泥の質が異なること、他の地域でどのようにクロツラヘラサギが保護されているか…といったことを知った子どもたちは驚きと興味に満ちていました。そして、子どもたちは目の前の自然を大切に思うとともに、自分の住む地域の自然と他の地域との自然のつながりを認識し、他の地域の自然とそれを守ろうとする人々の努力を尊重し、大切にしようとしているように見えました。

交流会での子どもたちの言葉と姿勢は全て、今意思決定の場の中心に居る大人たちに届ける必要があると思っています。これから子どもたちから送ってもらった動画と交流会の様子を一つの動画に編集し、国際条約のサイドイベント等の機会を通して、大人たちに伝えていくつもりです。

2. 成果物

1. 「[クロツラ観察会 in 今津](#)」の開催(ウェットランドフォーラムとの共催) (2021.4.18)
2. 動画「[渡り鳥がつなぐ子どもたちからの手紙](#)」公開 (2021.10.24)
3. 子ども交流会「クロツラヘラサギがつなぐ子ども湿地未来プロジェクト『湿地のともだち、こんにちは!』」の開催 (2022.4.24)